

平成29年度 学校連携プログラム 活動報告

(単位 人) 資料1

回	月	日	曜	学校	学年	プログラム	参加児童	講師	備考
1		1	木	特別支援学級合同	小1~中3	五平餅作りと交流会	17	13	
2		7	水				35	9	
3		8	木	長久手小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	35	8	
4		9	金				36	8	
5		13	火	西小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	32	9	
6		14	水				32	8	
7		15	木	東小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	38	9	
8	6	20	火				28	5	
9		21	水	長久手小学校	4	七夕かざり	28	6	
10		22	木				28	5	
11		23	金				26	5	
12		27	火				35	8	
13		28	水	北小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	33	9	
14		29	木				34	9	
15		30	金				35	9	
16		7	金				36	9	
17		11	火				35	9	
18	7	12	水	市が洞小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	35	10	
19		13	木				35	9	
20		14	金				36	9	
21	8	18	金	南小学校	教職員	かまどでピザ作りと竹を切って流しそうめん作り	0	2	教職員19
22		25	金	北小学校	教職員	かまどでピザ作りと竹を切って流しそうめん作り	0	2	教職員22
23		5	火				34	9	
24		6	水	南小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	36	9	
25		8	金				34	9	
26	9	27	水				36	12	
27		28	木	市が洞小学校	2	昔のおこしもの作り	34	12	
28		29	金				34	14	
29		3	水				33	12	
30		4	木				34	12	
31		5	金				35	12	
32		6	金				30	11	
33		11	水	南小学校	2	走る木車と焼き芋作り	30	9	
34		12	木				31	11	
35		13	金				29	10	
36	10	18	水	東小学校	1	カスタネットとドングリやじろべえ作り、焼き芋	26	10	
37		19	木				25	10	
38		20	金				24	10	
39		25	水				33	10	
40		26	木				32	10	
41		27	金	市が洞小学校	2	餅つきと昔の遊び体験	32	9	
42		31	火				33	9	
43		1	水				33	10	
44		2	木				33	8	
45		14	火	Nハウス	小6~中3	焼き芋と竹串作り	7	1	
46	11	21	火				32	9	
47		22	水				31	10	
48		24	金	北小学校	1	松ぼっくりのクリスマスツリー作りと焼き芋	30	12	
49		28	火				31	11	
50		29	水				32	11	
51		6	水				30	8	
52		7	木	西小学校	2	餅つきと昔の遊び体験	29	8	
53	12	8	金				27	8	
54		26	火	長久手中、南中	教職員	餅つき体験	0	2	教職員15
55		16	火				33	12	
56		17	水	南小学校	3	昔のおこしもの作り	34	13	
57		19	金				35	12	
58	1	25	木	東小学校	3	かまどでご飯を炊いて五平餅を作ろう	20	14	
59		26	金				24	12	
60		31	水	適応指導教室合同	小2~中3	おこしもの作りとレクレーションを楽しむ	17	1	教職員9
61		1	木				32	13	
62		2	金				33	12	
63		6	火	北小学校	3	昔のおこしもの作り	33	12	
64		7	水				33	12	
65		9	金				30	8	
66	2	14	水	長久手小学校	2	餅つきと昔の遊び体験	33	9	
67		16	金				33	10	
68		21	水				29	12	
69		22	木	西小学校	3	昔のおこしもの作り	26	13	
70		23	金				30	12	
合計70回							2,074	655	

プログラム名	飯盒炊さんとカレーライス作り		
日時・対象	① 平成29年 6月 7日(水)～ 9日(金)	長久手小学校	5年生
	② 平成29年 6月13日(火)～14日(水)	西小学校	5年生
	③ 平成29年 6月15日(水)	東小学校	5年生
	④ 平成29年 6月27日(火)～30日(金)	北小学校	5年生
	⑤ 平成29年7月7日(火)、11日(火)～14日(木)	市が洞小学校	5年生
	⑥ 平成29年 9月 5日(火)、6日(水)、8日(金)	南小学校	5年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・炉の作り方、まき火のおこし方、飯盒でのご飯の炊き方、カレーの作り方等、飯盒炊さんの基礎的知識・技術等を体験を通して身に付ける。 ・飯盒炊さんを行う時の安全について理解する。 ・一連の活動を通して、協力・協働の大切さを身に付ける。 		
参加児童数	①106名 ②64名 ③ 38名 ④ 137名 ⑤ 177名 ⑥ 104名 計626名		
講師数	①25名 ②17名 ③9名 ④ 35名 ⑤ 44名 ⑥ 27名 計155名		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに風向きなどを確認し、炉の向きや高さなど考え、安全で使いやすい炉を耐火レンガで積み上げる。できた炉で飯盒炊さんをする。 ・まき割りや火おこしを体験する。 ・カレーの材料をその性質に合わせて切る。 ・自然木を使ってキーホルダーを作る。 		
児童感想	<p>※ とても良かった 564名 良かった 49名 ふつう 4名 未回答 9名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「薪は重さで割る」ということを知った。 ・薪割りをしたとき、斧は軽いと思っていたけどとても重くて驚いた。 ・ご飯をたくときやけどをしないように軍手を二重にしてやった。まきを入れるたびに炎が強くなり少しこわかったけど、きちょうな体験ができた。 ・飯盒がバナナみたいな形で「こんなので炊けるの？」と思ったけど、おいしく炊けたのでびっくりした。 ・カレーはとろとろしていて、今までに食べたことがないくらいおいしかった。 ・カレーライスはおいしくて、3回おかわりをした。 ・タマネギを切るとき涙が出るかと不安だったけれど、涙が出ない切り方を教えてくれたので、うれしかった。 ・かまどをレンガで作るのが楽しかった。 ・野菜を切るとき、第1関節に包丁を当てて切るということが初めてわかった。 ・みんなの協力のおかげでおいしいカレーライスができた。 ・キーホルダーは、折角なのでキャンプに付けて行こうと思う。 ・自分のオリジナルのキーホルダーなので、ずっと大事にしたい。 		
教師感想	<p>※ とても良かった 39名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とてもわかりやすく説明してもらい子どもたちも活動しやすかった。 ・薪割り、かまどの組み立てなど、子どもにとって貴重な体験であった。 ・竹やぶの自然体験は、興味深く聞いている児童が多かった。 ・講師によって手順が少し違っていたので、統一してほしい。 		

プログラム名	七夕かざり	
日時・対象	平成29年6月20日(火)～6月23日(金)	長久手小 1年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・色紙で網飾り、吹き流し、提灯などを作り、願いを書いた短冊とともに笹に結び付けて七夕飾りを作ることができる。 ・安全に気をつけて、活動することができる。 ・昔からの日本の文化について知る。 ・仲良く、助け合って活動することができる。 	
参加児童数	110名	計 110名
講師数	21名	計 21名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな種類の七夕飾りを作る。 ・飾りを取れないように、しっかりと笹に結び付ける。 ・出来た七夕飾りを互いに見せ、楽しむ。 	
児童感想	<p>※とても良かった 94名 良かった 11名 未回答 5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織姫と彦星を作るのが楽しかった。 ・切り子と提灯が難しかった。 ・飾りを結ぶのが難しかった。 ・最初は難しいと思ったけど、こども塾の先生が教えてくれたのであまり難しくなかった。 ・こども塾で林の中を探検したのが楽しかった。 ・提灯が上手にできた。 ・切り子をきれいに作れた。 ・切り子を切りすぎないように上手にできた。 ・竹で遊んだのが楽しかった。 ・竹の音がきれいだった。 ・竹をたたいたらいろいろな音がした。 ・竹林で遊んだのが楽しかった。 ・七夕の日は晴れてほしい。 ・早く七夕の日になってほしい。 	
教師感想	<p>※ とても有意義であった 8名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外に出るということで挨拶やマナーなどを学ぶ機会ができ、よかった。 ・講師の皆さんが親しみやすく、そしてわかりやすく飾りの作り方を教えていただけだったので、児童が楽しくできた。 ・たくさん準備していただいたおかげで、子どもたちもスムーズに進めることができた。 ・来年度以降も同じ時期にできるとよい。 	

プログラム名	餅つきと昔の遊び体験
日時・対象	① 平成29年10月25日(水)～27日(金)10月31日(火)～11月2日(木)市が洞小学校 2年生 ② 平成29年12月6日(水)～8日(金) 西小学校 2年生 ③ 平成29年2月9日(金)14日(水)16日(金) 長久手小学校 2年生
ねらい	・昔から伝承されてきた食文化の一つである餅つきを体験して、先人の身近な知恵や技術の伝承の大切さを学ぶ。 ・一連の活動を通して、協力・協同の大切さを学ぶ。 ・地域の方々との交流を通しコミュニケーション能力を身に付ける。
参加児童数	① 196名 ② 86名 ③ 96名 計 378名
講師数	① 56名 ② 24名 ③ 27名 計 106名
活動内容	・餅つきについていわれ等の話を聞く。 ・かまど、お釜、せいろ、すのこ等の昔餅つきに使った道具の説明を聞く。 ・全員で杵を使い餅をつき、試食をする。 ・こま回し、竹トンボ、けん玉、だるま落とし等を体験して遊ぶ。
児童感想	※ とても良かった 333名 良かった 29名 ふつう 14名 よくなかった 1名 未回答 1名 ・お餅は米から作ると初めて知った。 ・杵が重かったけど、おいしいお餅ができた。 ・お餅つきが一番楽しかった。最初はちょっと難しかったけど最後はコツがわかってうまくできた。 ・お餅がおいしかった。特にきな粉がおいしかった。 ・大根おろしのお餅は辛いと思っていたけど一番おいしかった。 ・一番心に残ったのは餅つきの昔の道具の名前と餅のつきかたを教えてもらったこと。 ・だるまおとしがおもしろかった。なぜかと言うとバランスに気をつけて落とすときどき感があったから。 ・竹とんぼを初めてやった。やり方を教えてもらったら高く飛んでうれしかった。 ・最初はこまが回せなかったけど、最後はうまく回せてうれしかった。 ・竹とんぼを初めてやった。コツを教えてもらったら、すぐにできてうれしかった。 ・竹林でのそり滑りが楽しかった。1回目はスピードが出なかったけど、2回目に違うところでやったら、スピードが出て楽しかった。 ・太い竹は登りにくかったけど、細い竹は登りやすかった。 ・竹をたたいてみたら、いろいろな音がした。
教師感想	※ とても良かった 12名 ・子どもたちは、餅つきよりも昔遊びや竹林遊びに興味を持ったようだ。 ・学校では体験できない餅つきや竹林遊びができて良かった。 ・用語の説明が2年生には難しいものもあった。 ・天候が良くない日もあったが、臨機応変に対応してもらえて良かった。 ・児童が困っているときに声をかけてもらい児童も安心して過ごすことができた。 ・帰路、道路が渋滞していて下校時刻がぎりぎりになったクラスがあったので、10分ほど帰りを早くしてほしい。

プログラム名	カスタンネットとドングリやじろべえ作りと焼き芋	
日時・対象	平成29年10月18日(水)、19日(木)、20日(金)	東小学校 1年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を観察し、秋を体感する。 ・自然の中にある材料(草花・木の実・種等)を使って、カスタンネットやドングリやじろべえを作ることができる。 ・安全に気をつけ、協力して活動する。 	
参加児童数	75名	計 75名
講師数	30名	計 30名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まきを勢いよく燃やし、おき火を作る。 ・芋を新聞に包み、濡らした後アルミホイルに包み、おき火に入れ焼く。 ・焼き芋を試食する。 ・カスタンネットの材料に絵を描く。 ・ゴムを通して、カスタンネットを作り、音の出具合を確かめる。 ・班ごとに歌に合わせて演奏する。 ・ドングリにバランスを考えて竹の棒を通す。 ・左右のバランスを見て、修正する。 ・やじろべえを揺らして遊ぶ。 	
児童感想	<p>※ とても良かった64名 良かった8名 ふつう3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やじろべえが上手にできて良かった。 ・やじろべえのパーツがかわいく貼れて楽しかった。 ・ドングリに串を差し込むのが少し難しかったけど、楽しかった。 ・やじろべえにいっぱい木の実を付けて楽しかった。 ・自分の作ったやじろべえを友達に褒められてうれしかった。 ・作ったカスタンネットはいい音がした。演奏会も楽しかった。 ・カスタンネットの演奏会は緊張した。 ・おまじないをかけたから、おいしい焼き芋ができた。 ・スーパーで買った焼き芋よりおいしかった。 ・芋を新聞紙で巻くのが難しかった。 ・竹林で竹をたたいてみたら、太いのと細いので音が全然違っていた。 ・高いところまで竹登りをしたら筋肉痛になった。最高の一日になった。 	
教師感想	<p>※ とても良かった 6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回感じることだが素晴らしい施設と丁寧な準備、多くの方々の温かい支援のおかげで児童が多くの貴重な体験をできることを感謝している。 ・自然に恵まれ、また祖父母との同居世帯も多い本校でも、実体験の少ない児童が多くなっており、たき火や焼き芋も初体験という児童が多数おり、貴重な体験となった。 ・天候が悪いときのプログラムは、こども塾でしかできない内容にしてもらえるとありがたい。紙飛行機は学校でもできるので。 ・土日のプログラムについてこども塾便りをもとに話してもらい、こどもたちはかなり興味をもったようだ。 	

プログラム名	走る木車と焼き芋作り	
日時・対象	平成29年10月6日(金) 11日(水)～13日(金)	南小学校 2年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の素材を使って走るおもちゃを作ることができる。 ・焚火を炊いて焼き芋を作り、秋の味覚を味わう。 ・安全に気をつけ、協力して活動することができる。 	
参加児童数	120名	計120名
講師数	41名	計41名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道具などの使い方や作る手順を聞く。 ・車体に車軸と車輪を取り付け走ることを確認する。 ・デザインを工夫してパーツを取り付けていく。 ・完成したら、観賞会を開く。 ・まきを勢いよく燃やし、おき火を作る。 ・芋を新聞に包み、濡らした後アルミホイルに包み、おき火に入れ焼く。 ・焼き芋を試食する。 	
児童感想	<p>※ とても良かった111名 良かった7名 ふつう2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に木の実を飾って木車を作るのが楽しかった。 ・作った木車は、スピードが出てとてもうれしかった。 ・講師の先生が優しく、パーツを付けるたびに「いいね」と言ってくれて、とてもかわいい木車ができた。 ・木車を作るのが楽しかった。いろいろな木の実を自由に飾るのが楽しかった。 ・木車の鑑賞会で「タイヤがきれい」と言われて、とてもうれしかった。 ・木車作りをいろいろな先生と一緒にできてうれしかった。 ・焼き芋がおいしくなるようにおまじないをかけて焼いたら、本当においしく焼けてうれしかった。 ・講師の先生がおき火を作ってくれたから、おいしい焼き芋ができた。 ・普通のお店の焼き芋よりおいしくて、おばあちゃんに作り方を教えてあげたいと思った。 ・竹林で竹たたきをしたら、とても良い音がした。 ・竹登りをしたことが楽しかった。 ・竹林の坂で滑ったことが楽しかった。 ・こども塾の先生がいろいろな木のことや竹で作った熊などの話をしてくれた。 	
教師感想	<p>※ とても良かった 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生方の指導が素晴らしく、様々な体験活動を通して教師が子どもの良さを再発見することができた。 ・児童の作文から彼らの自己肯定感が高まったことを感じる事ができた。 ・雨の日用のプログラムもとてもよく、こども塾ならではの里山の話や紙飛行機のお土産付きが特別な感じがしてうれしかった。 	

プログラム名	松ぼっくりのクリスマスツリー作りと焼き芋
日時・対象	平成29年11月21日(火)、22日(水)、24日(金)、28日(火)、29日(水) 北小学校 1年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・松ぼっくりにいろいろ飾りをつけて、クリスマスツリーを作ることができる。 ・たき火をたいて焼き芋を作り、秋の味覚を味わう。 ・仲良く、助け合って活動することができる。
参加児童数	156名 計 156名
講師数	52名 計 52名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・たき火の中に、一人ずつ切った竹を投げ入れ、たき火の体験をする。 ・サツマイモを洗い、新聞紙に包み、水に浸してから、アルミ箔で包む。 ・アルミ箔で包んだサツマイモをたき火(おき火)の中に入れる。 ・ツリーを作るため、用意されたいろいろな材料の中から選ぶ。 ・台座に自分でデザインをしながら、木工用ボンドで一つずつ接着していく。 ・完成したものを互いに見せ合い、評価する。 ・焼き芋を食する。
児童感想	<p>※ とても良かった 133名 良かった 17名 ふつう 6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き芋を火に入れるのが少し怖かったけど、おいしく焼けた。 ・お芋がよく焼けておいしかった。 ・お芋が温かくて、甘くてとてもおいしかった。 ・芋を新聞紙とアルミホイルで包んで焼いた。焼けた芋はほっぺたが落ちそうなくらいおいしかった。 ・松ぼっくりにビーズを付けるのが難しかったけど、先生が褒めてくれてうれしかった。 ・松ぼっくりのツリーに木の実や葉っぱをたくさん付けてかわいいツリーができた。 ・こんなに大きな松ぼっくりは初めて見た。 ・クリスマスツリーはいろいろな木の実があって付けるのが大変だったけど楽しかった。 ・ボンドで木の実を付けるのが難しかったけど、すてきなツリーができた。 ・竹登りをした。竹の太さによって難しさが違うことがわかった。 ・竹登りをした。高いところまで登れて楽しかった。 ・木の棒で竹をたたくと、同じ竹でもいろいろな音が出て音楽が弾けた。きれいな音が出て楽しかった。 ・竹林でのそり遊びが楽しかった。
教師感想	<p>※ とても良かった 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料を豊富に用意してもらい、どの子も満足のいく作品を作ることができた。 ・鑑賞会では友達に褒めてもらいうれしそうであった。 ・焼き芋とクリスマスツリー作りでは、講師の先生に優しく丁寧に教えていただき子どもたちは楽しそうに活動に取り組んでいた。 ・竹林遊びは、普段なかなかできない遊びを経験させてもらい、自然の中で遊ぶ面白さを肌で感じることもできたと思う。 ・イノシシが掘った穴を見たことが、子どもたちにとってとても印象に残ったようだ。

プログラム名	昔のおこしもの作り	
日時・対象	①平成29年9月27日(水)～29日(金) 10月3日(火)～5日(木) ②平成30年1月16日(火)17日(水)19日(金) ③平成30年2月1日(木)2日(金)6日(火)7日(水) ④平成30年2月21日(水)～23日(金)	市が洞小学校 3年生 南小学校 3年生 北小学校 3年生 西小学校 3年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の素朴なお菓子としてのおこしものを作る体験を通して、昔から伝えられてきた日本の食文化の伝統にふれる。 ・一連の活動を通して、協力・共同の大切さを身に付ける。 ・地域の方との交流を通して、コミュニケーション能力を高める。 	
参加児童数	①206名 ②102名 ③131名 ④85名	計524名
講師数	①74名 ②37名 ③49名 ④37名	計197名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・おこしものいわれについて話を聞く。 ・焚きつけのまきを作り、かまどで湯を沸かす。 ・米粉にお湯を入れ、生地を作り、型に入れおこしものを作る。 ・おこしものをせいろで蒸し、冷水をかける。 ・乾かしたあと、七輪で焼き、砂糖醤油をつけて試食する。 	
児童感想	<p>※ とても良かった 461名 良かった 53名 ふつう 8名 あまりよくなかった 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の道具を見せてもらって昔の道具のことがよくわかった。七輪は物を焼く道具だということがわかった。 ・おこしものの生地を作るために米粉に熱湯を入れ手でこねた。結構、力が必要だった。 ・生地を型に入れてぬくのが難しかったけれど、講師の先生が優しく教えてくれたので上手にできた。 ・講師の先生が作ってくれたたれが、本当においしかった。 ・みんなで協力してできたおこしものだったので、とてもおいしかった。 ・おこしものに「魔法のたれ」をかけて食べると本当においしかった。 ・エプロンシアターでは、体の栄養のことがいろいろ学べておもしろかった。 ・ぼくは竹とんぼをあまりうまく飛ばせなかったけど、今日の紙とんぼでは友達が教えてくれたので、うまく飛ばすことができてうれしかった。 ・竹林で竹登りをした。すごく高くて足も痛かったけど、頑張って登った景色はすごく良かった。 ・竹林の坂に落ち葉をまいてそり滑りをした。すごくスピードが出て怖かったけどおもしろかった。 	
教師感想	<p>※ とても良かった 32名 よかった 3名 ふつう 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や作り方、道具の説明まで写真やパネルを使ってわかりやすく説明してもらい、よかった。 ・子どもたちが高い集中力を保てるような声かけやプログラム構成であった。 ・講師の話が少し長く、午前のプログラムが押し気味であった。 ・手洗い場にお湯が出ると、こびりついたおこしものが取りやすい。 ・郷土に伝わる伝統菓子を作るという体験、かまどや七輪という昔の道具を使うという体験は、子どもにとって有意義であり貴重であると考えます。 	

プログラム名	かまどでご飯を炊いて五平餅を作ろう		
日時・対象	平成30年1月25日(木)・26日(金)	東小学校	3年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土(愛知県・岐阜県・長野県)に伝わる五平餅を作る体験を通して、昔から地域に伝えられてきた食文化にふれる。 ・一連の活動を通して、協力・共同の大切さを身に付ける。 ・地域の方との交流を通して、コミュニケーション能力を高める。 		
参加児童数	44名		計 44名
講師数	26名		計 26名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・五平餅の由来について話を聞く。 ・米を研ぎ、かまどでご飯を炊く。 ・ご飯を6～7分つきにすりつぶす。 ・生地を作り、熱いうちに串につけ形を整え、五平餅にする。 ・炭火で焼き、たれをつけ少し焦げ目のつくまで焼く。 ・熱いうちに試食をする。 		
児童感想	<p>※ とても良かった 36名 良かった 4名 ふつう 3名 未回答 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯をたく釜がとても大きくて驚いた。 ・初めてかまどでご飯を炊いた。まず新聞紙や枝にマッチで火を付けた。やがて小さい薪に火が付き、次に大きい薪に移っていった。見ていてとても楽しかった。 ・クルミやピーナッツをすりつぶしてたれを作った。すりつぶすときに力があるので大変だった。 ・今の時代は電気製品ですぐにできておいしいけれど、昔の道具でじっくり時間をかけて作った方がもっとおいしいと思った。 ・かまどは火の調整やまきを入れるタイミングが難しかったけれど、講師の先生がいろいろ優しく教えてくれたのでおいしいご飯が炊けた。 ・私は五平餅が苦手だったけれど、平成こども塾の五平餅はすごくおいしくて食べられたから良かった。 ・自分たちで作った五平餅、一つは自分で食べた。とてもおいしかった。もう一つはお兄ちゃんにあげようと思う。 ・竹林でそり滑りをした。とてもスピードが出て怖かったけど、楽しかった。 ・竹をたたいてみたらウッドブロックみたいな音がする竹を見つけた。昔の人はこの音を聞いてウッドブロックを発明したのかな、と思った。 ・竹林に行った。ここにイノシシが出ると聞いて驚いた。 		
教師感想	<p>※ とても良かった 4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班ごとに講師の先生方に丁寧に指導してもらい、子どもたちはおいしい五平餅に大喜びであった。 ・子どもたちは実際に体験することで個々に気づき、感じることができ、真の学習になると思う。 ・今回は天候のため仕方がなかったが、やったらやりっ放しの子どもたちが多いので、片付けまでやらせたい。 		

